

新元号『令和』



5月1日、「令和元年」がスタート。
日本で初めての元号「大化（たいか）」から数えて248番目の元号で、万葉集に収録された短歌から引用されました。

平成は30年という間に様々なことがありました。令和はどんな時代になるのでしょうか。G20首脳会議、ラグビーワールドカップ、東京五輪、大阪万博、成人年齢の引き下げ、AI発達等々、世の中が大きく動くような気配がします。明るい未来になることを願います。

「COOL CHOICE」しませんか？

「COOL CHOICE」

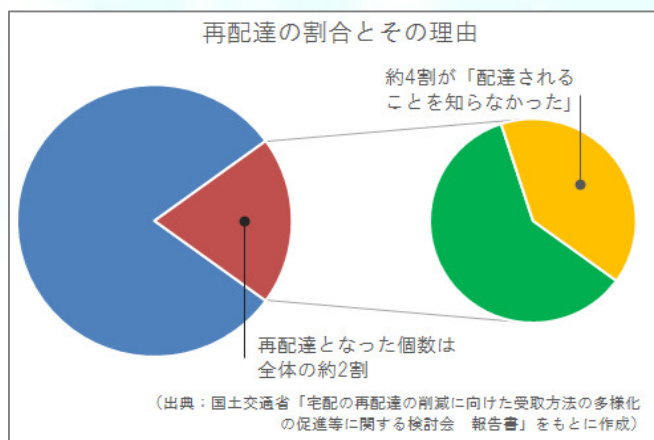
「COOL CHOICE」とは、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動の事。



近年、多様化するライフスタイルとともに電子商取引(EC)が急速に拡大し、宅配便の取り扱い個数が増加している一方、宅配便の再配達はCO2排出量の増加やドライバー不足を深刻化させるなど、重大な社会問題の一つとなっています。

宅配便の再配達による環境への影響を意識したことはありますか。

国土交通省によると、平成26年度の宅配便配達走行距離のおよそ25パーセントが再配達に費やされているそうです。



これは年間約1.8億時間が不在配達に費やされているという計算になり、CO2排出量に換算するとスギの木1億7400万本が1年間に吸収する量に相当します。また、再配達を利用する理由の約4割は「配達されることを知らなかった」というものです。

この状況をどう改善するか、様々な対策がなされています。例えば、各事業所がコミュニケーションツールを提供したり、コンビニや駅、勤務先など個人宅以外で受け取るサービスができたりしています。また、最近では個人宅に設置する宅配BOXも出てきています。

こういった取り組みの利用は「COOL CHOICEできるだけ1回で受け取りませんかキャンペーン～みんなで宅配便再配達防止に取り組むプロジェクト～」で推奨されています。

「COOL CHOICE」とは、日本政府が推進している国民運動です。脱炭素社会づくりに貢献する「賢い選択」をしよう、という内容で様々なキャンペーンがあります。

ぜひ、元号が変わり新しい時代に差し掛かるこの機会に「COOL CHOICE」してみませんか。





職場環境を整えよう

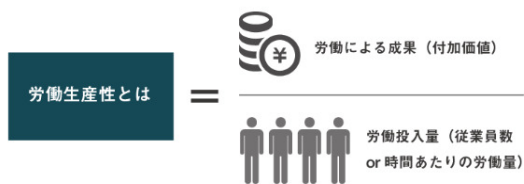
環境新聞のテーマとしては意味合いが違いますが、働き方改革により平成31年4月から有給休暇10日保有者には5日以上取得が義務化となります。

働き方改革とは、「一億総活躍社会(少子高齢化が進む中でも～誰しものが活躍できる社会)」を目指すため、①働き手を増やす、②出生率を上げる、③労働生産性を上げるとされています。

その中で③労働生産性を上げるとは、成果(分子)を高めるか、労働時間(分母)を縮めるかとなります。



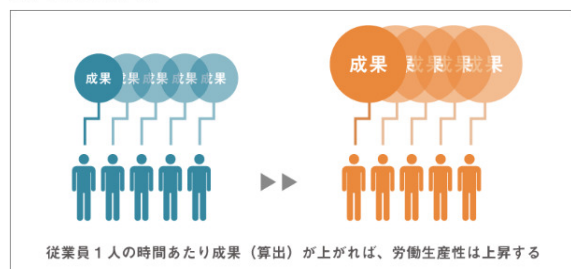
生産性＝産出 (Output) / 投入 (Input)



労働者が成果を産み出すうえでの効率を数値化したものであるため、この値は

- ・労働者のスキルアップ・業務効率化
- ・経営効率の改善

によって上昇します。



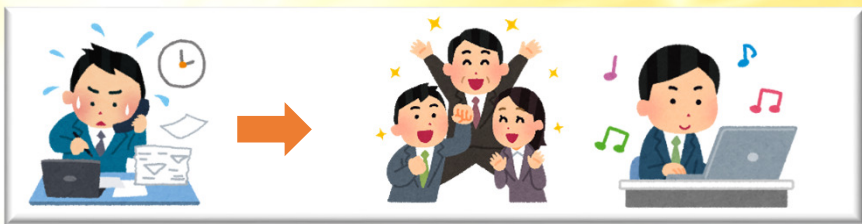
働き方改革により、残業時間の制約や有休消化義務が課せられ、仕事をする時間が刻一刻と短くなっております。

しかし上記の労働生産性、企業としての付加価値率を高めていくことは利益追求集団としては必須、同じ成果であれば時間をかけずに処理できるようになることも必要かと考えます。

このことはISO9001の品質向上にもつながると思います、仕事一つ一つの精度を高め、ミスのない作業、二度手間を無くし効率よく仕事を処理していくことを意識していきましょう。

またこの制度によると会社が「有休消化日を指定しなければならない」義務もあります。

どうせ休むのです、会社に指示されて休むのではなく、自分自身の都合で休みたい日に休みをとれる職場環境に整えることを心掛けましょう。



間もなく新社屋完成！

本社の北側に建設されている新社屋がまもなく完成します。ここでは、CADを使用した製品を中心に扱う予定です。おかげさまで弊社は来年創業30周年という節目の年を迎えます。

これからも変わらず、環境にやさしい製品を皆様にお届けできるよう基本に忠実に丁寧な仕事を心がけます。

そしてこれまで以上にお客様、地域社会の皆様に寄り添えるよう邁進してまいります。幕を開けた令和の時代も何卒よろしくお願い申し上げます。